

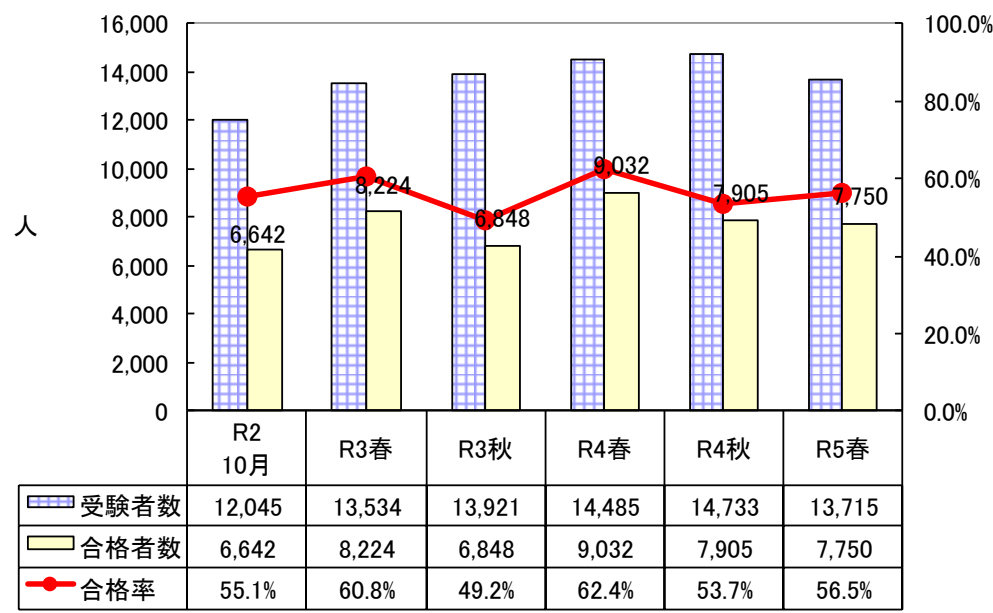
共通午前 I

1. はじめに

1.1 総評

午前 I 試験は、例年、応用情報技術者試験の午前問題から 30 問が選ばれて出題されていますが、今回も同様でした。高度情報処理技術者が持つべき技術と技能の柱となる重要な基礎知識に関する問題が多く、IT に関する本質的でオーソドックスな技術や知識を問う問題がほとんどでした。

1.2 受験者の推移



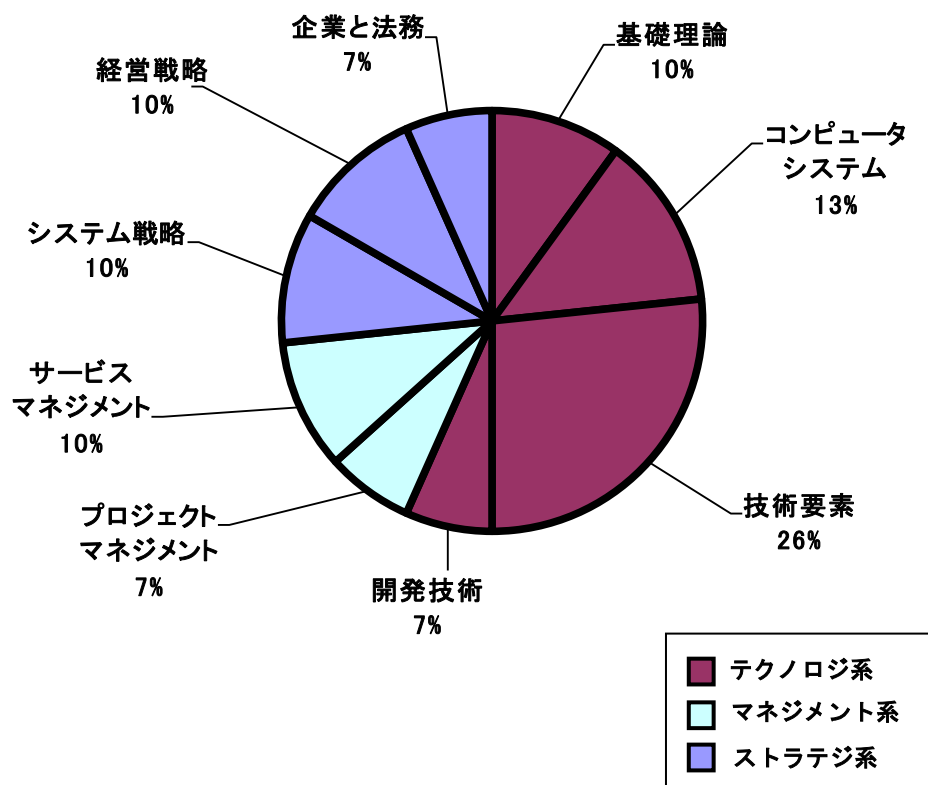
※受験者数・合格者数は、午前 I 免除制度を利用した受験者の数は含まれておりません。

2. 午前 I 問題の分析

2.1 問題テーマの特徴

分野ごとの出題比率は前回と同じでした。

分野	大分類	出題比率	出題数
テクノロジ系 (17 問)	基礎理論	10%	3 問
	コンピュータシステム	13%	4 問
	技術要素	26%	8 問
	開発技術	7%	2 問
マネジメント系 (5 問)	プロジェクトマネジメント	7%	2 問
	サービスマネジメント	10%	3 問
ストラテジ系 (8 問)	システム戦略	10%	3 問
	経営戦略	10%	3 問
	企業と法務	7%	2 問



ほとんどの問題で、本質的で正統な技術・知識や動向が取り上げられていましたが、新しい技術・知識や動向を踏まえた問題もありました。過去問題からの再出題は10問で、前回より多くなっています。また、テーマが同じであっても、表現や切り口を変えるなどして新出問題となっているものもあります。

オーソドックスな問題テーマとしては、パリティビット(問2)、バブルソート(問3)、タスクスケジューリング(問6)、レンダリング(問8)、データベースの障害回復(問9)、サブネットワークのアドレス(問10)、電子メールの第三者中継(問13)、IDE(問17)、プロジェクト・スコープ記述書(問18)、アローダイアグラム(問19)、サービス停止時間(問20)、バックアップ(問21)、監査手続(問22)、SOA(問24)、ファウンドリーサービス(問25)、セグメンテーション変数(問26)、マシンビジョン(問28)、パレート図(問29)などが挙げられます。

2.2 難易度の特徴

問題の技術レベルは3で、それぞれの分野の基礎レベルといえます。しかし、出題範囲は、数学の基礎から経営や法律まで、非常に幅広いものとなっています。

難易度は、新しい技術・知識に関する問題と、解くのに面倒な思考や計算が必要で手間がかかる問題を、難しいと評価しました。

新しい技術・知識に関する問題としては、投機実行(問4)、IaC(問5)、DKIM(問15)、ローコード開発(問16)、バックキャストリング(問23)などがありました。また、解くのに面倒な思考や計算が必要で手間がかかる問題としては、逆ポーランド表記法(問1)、タスクスケジューリング(問6)、3入力多数決回路(問7)、サービス停止時間(問20)などがありました。

ただし、受験者には得意不得意があり、知識にも偏りがあります。そのため、難易度の感じ方は受験者によって異なるでしょう。テクノロジー系が苦手な受験者にとっては、逆ポーランド表記法、パリティビット、バブルソート、投機実行、IaC、タスクスケジューリング、3入力多数決回路などの問題が難しく感じられたでしょう。一方、ストラテジ系が苦手な受験者にとっては、セグメンテーション変数、オープンイノベーション、マシンビジョン、パレート図、匿名加工情報などの問題が難しく感じられたと考えます。

2.3 問題テーマ難易度一覧表

問	テーマ	分野名(中分類)	再出題	難易度
1	逆ポーランド表記法	基礎理論		C
2	パリティビット	基礎理論	H21 年秋	A
3	バブルソート	アルゴリズムとプログラミング		B
4	投機実行	コンピュータ構成要素		C
5	IaC (Infrastructure as Code)	ソフトウェア		C
6	タスクスケジューリング	ソフトウェア		B
7	3 入力多数決回路	ハードウェア	H15 年春	C
8	レンダリング	ヒューマンインタフェース	H18 年秋	A
9	データベースの障害回復	データベース	H16 年秋	A
10	サブネットワークのアドレス	ネットワーク	H14 年秋	A
11	マルチキャスト	ネットワーク		A
12	レインボーテーブル攻撃	セキュリティ		B
13	電子メールの第三者中継	セキュリティ		B
14	JPCERT コーディネーションセンター	セキュリティ		A
15	DKIM	セキュリティ		C
16	ローコード開発	システム開発技術		C
17	IDE	ソフトウェア開発管理技術		B
18	プロジェクト・スコープ記述書	プロジェクトマネジメント		A
19	アローダイアグラム	プロジェクトマネジメント	H21 年春	C
20	サービス停止時間	サービスマネジメント		C
21	バックアップ	システム監査		A
22	監査手続	システム監査	H15 年秋	A
23	バックキャストイング	システム戦略		C
24	SOA	システム企画	H16 年春	A
25	ファウンドリーサービス	システム企画	H19 年秋	A
26	セグメンテーション変数	経営戦略マネジメント		B
27	オープンイノベーション	ビジネスインダストリ		B
28	マシンビジョン	ビジネスインダストリ		A
29	パレート図	企業活動	H19 年春	A
30	匿名加工情報	法務		B

注) 難易度は 3 段階評価で、C が難、A が易を意味する。再出題は前回出題の年を掲載している。

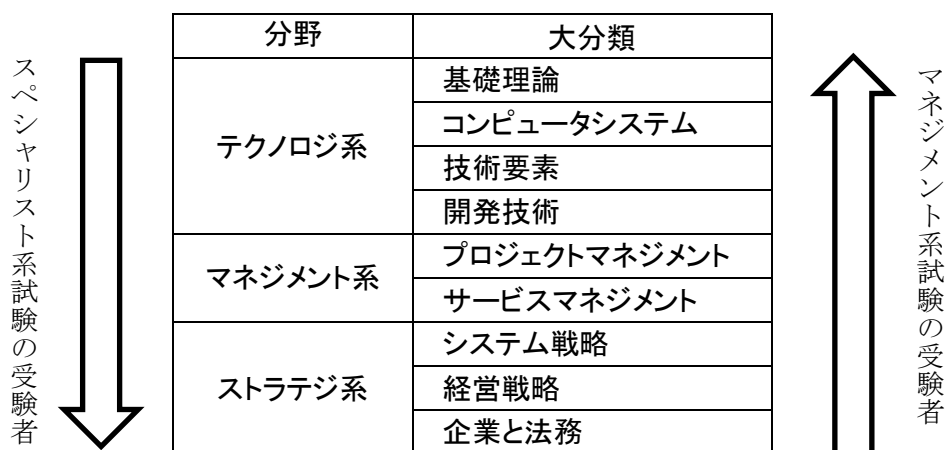
3. 今後の対策

3.1 今後の対策

午前 I 試験は、情報処理技術者試験の全ての出題分野から満遍なく出題されており、分野別の出題比率は、毎回ほとんど変化がありません。また、問題の難易度も、技術レベル 3 に規定されており、これにも変化はありません。

午前 I 試験では、専門試験の午前 II、午後 I、午後 II 試験で求められる知識と技能の土台となる極めて重要な基礎知識が問われます。そのため、手を抜かずに学習することが、専門試験を突破するためにも有効です。しかし、出題範囲が非常に広いので、学習には大きな労力と時間が必要になり、専門試験の学習に支障をきたしてしまうおそれがあります。そのため、得意分野の問題を確実に得点に結び付ける学習を心がけることが重要です。

合格点は 60 点ですので、30 問のうち 18 問を正解すればいいのです。100 点を目指した学習は効率的ではありません。60 点を目標に学習してください。それには、受験区分に応じた学習を行うとよいでしょう。スペシャリスト系試験区分の受験者は、テクノロジ系分野から学習をスタートして、マネジメント系分野とストラテジ系分野の確実に得点できそうな大分類を学習に加えましょう。マネジメント系試験区分の受験者は、マネジメント系分野とストラテジ系分野から学習をスタートして、テクノロジ系から得点しやすい大分類を選んで学習するとよいでしょう。



繰り返し出題される問題テーマを知るためには、過去問題を中心に学習することが効果的です。ただし、完全な再出題を期待した学習はお勧めできません。繰り返し出題される問題テーマは、過去問題を発展させたり、切り口を変えたりして再出題されることが多いからです。繰り返し出題される問題テーマを知った上で、それらを意識して学習することが重要です。60 点が取れると思えるようになったら、専門試験の合格を目指した学習に移行しましょう。

令和6年度春期の情報処理技術者試験・ 情報処理安全確保支援士試験の対策も **TAC**にお任せください！

< 企業ご担当者様へ人気のおススメコースをご紹介します >

合格に必要な知識を効率よくマスターできるコンテンツ

情報処理安全確保支援士Webコース

情報処理安全確保支援士受験のためのベーシックコースです。少ない時間で効率的に学習ができるように専門知識の重要論点を集約したポイント講義（Web動画）は、20テーマ（1テーマあたり30分）を配信します。

試験対策	42,000円（10%税込）
午前Ⅰ免除	36,000円（10%税込）



充実した添削指導の午後Ⅱ対策が合格のポイント

ITストラテジストWebコース

午前・午後の試験に対応したアウトプットトレーニングで、知識の定着を図ります。講義動画（全4回、1回あたり30分）は午後Ⅰの分析と解法テクニック、論述式問題への取組み方を具体的な問題で解説します。

試験対策	54,000円（10%税込）
午前Ⅰ免除	48,000円（10%税込）



合格に必要な知識を効率よくマスターできるコンテンツ

ネットワークスペシャリストWebコース

少ない時間で効率的に学習ができるように工夫されたコースです。専門知識（午前Ⅱ）の重要論点を集約したポイント講義は、20テーマ（1テーマあたり30分）を配信します。

試験対策	42,000円（10%税込）
午前Ⅰ免除	36,000円（10%税込）



充実した添削指導の午後Ⅱ対策が合格のポイント

ITサービスマネージャWebコース

午前・午後の試験に対応したアウトプットトレーニングで、知識の定着を図ります。講義動画（全4回、1回あたり30分）は午後Ⅰの分析と解法テクニック、論述式問題への取組み方を具体的な問題で解説します。

試験対策	54,000円（10%税込）
午前Ⅰ免除	48,000円（10%税込）



充実した添削指導の午後Ⅱ対策が合格のポイント

システムアーキテクトWebコース

午前・午後の試験に対応したアウトプットトレーニングで、知識の定着を図ります。講義動画（全4回、1回あたり30分）は午後Ⅰの分析と解法テクニック、論述式問題への取組み方を具体的な問題で解説します。

試験対策	54,000円（10%税込）
午前Ⅰ免除	48,000円（10%税込）



知識の総整理を短期間で行う問題演習中心のコース

応用情報技術者 徹底演習コース

学習経験者、再受験者対象の午後試験対策コースです。午後試験の出題分野ごとに出題頻度や重要度の高いテーマを精選しました。その解法を学び、短期間で効率よく知識の総整理と得点力アップを目指します。

23,100円（10%税込）



※上記コースは2024年春試験向けコースとなります。各コース名はTAC法人向け人材教育サービス紹介サイト「TAC.biz」の当該コース紹介ページへのリンクとなっております。なお、2024年秋試験向けコースにつきましては、別途ご案内いたします（2024年春頃を予定しています）。

お問合せはこちら

TAC株式会社 法人事業部

東日本エリア：東京都千代田区神田三崎町3-2-18

東海・北陸エリア：名古屋市中村区則武1-1-7 NEWNO名古屋駅西8F

西日本エリア：大阪府大阪市北区中崎西3-4-12 梅田センタービル5F

03-5276-9802

052-977-1051

06-6371-1075